

関門“ノスタルジック”海峡 構成文化財一覧

～時の停車場、近代化の記憶～



構成文化財の
詳細はここを
チェック！



音声ガイド
も楽しめるよ



1 門司港駅(旧門司駅)本屋

もじこうえき きゅうもじえき ほんや
国指定重要文化財(建造物)

門司駅の2代目駅舎として、大正3(1914)年に建築された木造モルタル塗の建物。



福岡県北九州市門司区西海岸1-5-31

2 旧JR九州本社ビル

きゅう きゅうしゅうほんしゃ
未指定(建造物)

門司港に進出した三井物産の三代目にあたるオフィスビル。門司における近代化のプロセスを示す合理主義に基づいた建造物。昭和12(1937)年竣工。



福岡県北九州市門司区西海岸1-6-2

外観のみ
見学可

3 門司郵船ビル(日本郵船門司支店)

もじゆうせん
未指定(建造物)

日本郵船門司支店として建てられた、門司港駅(旧門司駅)の正面にあるオフィスビル。鉄筋コンクリート造4階建。昭和2(1927)年に竣工。現在は門司郵船ビルとして機能している。



福岡県北九州市門司区港町7-8

4 北九州市旧大阪商船

きたきゅうしゅうしきゅうおおさかしょうせん
国登録有形文化財(建造物)

大正6(1917)年に竣工した木造、一部煉瓦型枠鉄筋コンクリート造2階建の大阪商船の社屋。門司港を大陸航路の一大拠点とした。



福岡県北九州市門司区港町7-18

5 旧門司三井倶楽部 本館、附属屋

きゅうもじみついくらぶほんかん ふぞくや
国指定重要文化財(建造物)

門司に進出した商社・三井物産門司支店が接客や宿泊用に建設した施設。木造2階建、大正10(1921)年竣工。北九州における大正期の近代化を示す建物。



福岡県北九州市門司区港町7-1

外観のみ
見学可

6 ホーム・リング商会

しょうかい
未指定(建造物)

明治の日本の貿易に大きく貢献した、イギリス人貿易商が長崎で設立した会社「ホーム・リング商会」の系譜を受け継ぐ、淡い色使いが印象的な建築物。昭和37(1962)年竣工。



福岡県北九州市門司区港町9-9

構成文化財一覧

7

きゅうだいれんこうろ うや
旧大連航路上屋

未指定（建造物）

中国・大連をはじめ、世界各地を結ぶ国際航路の旅客ターミナルとして建てられた。昭和14（1929）年竣工。



福岡県北九州市門司区西海岸1-3-5

8

きたきゅうしゅうぎんこうもじしてん
北九州銀行門司支店
きゅうよこはましゅうぎんこうもじしてん
（旧横浜正金銀行門司支店）

未指定（建造物）

貿易融資や外国為替を専門に扱った横浜正金銀行の支店。鉄筋コンクリート造2階建。昭和9（1934）年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝2-3-4

9

さんきろう
三宜楼

未指定（建造物）

経済発展を遂げた門司港を代表する大型旅館。現存する料亭の建屋としては、九州最大の木造3階建。昭和16（1931）年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝3-6-8

10

きゅうしゅうてつどうきねんかん きゅうしゅうしゅうてつどうほんしゃ
九州鉄道記念館（旧九州鉄道本社）

国登録有形文化財（建造物）

明治21（1888）年に設立された九州鉄道の本社屋。明治24（1891）年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝2-3-29

11

もじくやくしょ
門司区役所（旧門司市役所）

国登録有形文化財（建造物）

モダンな外観デザインを有する旧門司市庁舎。鉄筋コンクリート造3階建。昭和5（1930）年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝1-1-1

12

きゅうもじぜいかん
旧門司税関

未指定（建造物）

門司税関が発足したのを契機に、明治45（1912）年に建設された税関庁舎。煉瓦造り瓦葺2階建。昭和初期まで税関庁舎として使用される。



福岡県北九州市門司区東港町1-24

外観のみ見学可

13

いわたけいゆうたくおもや どぞう
岩田家住宅主屋、土蔵

北九州市指定有形文化財（建造物）

明治32（1899）年から門司港地区で酒類販売を行ってきた岩田家の店舗兼住宅。木造2階建。大正10（1921）年上棟。



福岡県北九州市門司区東本町2-6-24

14

せかいへいわ
世界平和バゴダ

未指定（建造物）

昭和33（1958）年、日本で唯一ミャンマー仏教に認められたミャンマー式寺院として門司の和布刈公園内に建てられた。第二次世界大戦の戦没者の慰霊や日本・ミャンマー両国の親善、世界平和を目的としている。



福岡県北九州市門司区門司3251-4

通常非公開

15

もじこうじょう
ニッカウキスキー(株)門司工場製造場
きゅうだいり しゅせいせいぞうしよ せいぞうじょう
（旧大里酒精製造所 製造場）

未指定（建造物）

鈴木商店が大正3（1914）年に創設した焼酎工場。当時は朝鮮や中国向けに輸出する焼酎を製造していた。



福岡県北九州市門司区大里元町2-1

外観のみ見学可

16

もじこうじょうそうこ
ニッカウキスキー(株)門司工場倉庫

きゅうだいり せいふんしよ そうこ
（旧大里製粉所 倉庫）

未指定（建造物）

鈴木商店が明治時代末に起業した大里製粉工場の倉庫。ニッカウキスキーの倉庫として今も使われ続けている。



福岡県北九州市門司区大里元町2-1

17

きゅう きゅうしゅうこうじょう
旧サッポロビール九州工場

じむしょとう じょうぞうとう くみあいとう そうこ
事務所棟、醸造棟、組合棟、倉庫

国登録有形文化財（建造物）

明治45（1912）年に設立した「帝国麦酒株式会社」の工場として建設。事務所棟と醸造棟は大正2（1913）年竣工。



福岡県北九州市門司区大里本町3-6-1

18

へさきとうだい
部埼灯台

未指定（建造物）

旧暦明治5年1月（西暦1872年3月）に初点灯した灯台。関門海峡西口にある六連島灯台とほぼ同じ設計で、同じ時期に設置された双子灯台。



福岡県北九州市門司区大字白野江

構成文化財一覧

19

せきたんかいかん
石炭会館

未指定（建造物）

迎賓館や会議室としても利用された、若松区に現存する最古の洋風建築。



福岡県北九州市若松区本町1-13-15

20

きゅうがわくわくごうぎょうわかまつ
旧古河鋳業若松ビル

国登録有形文化財（建造物）

筑豊炭田で産出された石炭の中継地として栄えた若松を代表する近代建築。

煉瓦造2階建。

大正8（1919）年竣工。



福岡県北九州市若松区本町1-11-18

21

うえの きゅうみつびしごうしがいいわかまつしてん
上野ビル（旧三菱合資会社若松支店）

ほんかん、そうごとう きゅうふんせきしつ
本館、倉庫棟、旧分析室ほか

国登録有形文化財（建造物）

筑豊からの石炭販売、運送業を担った三菱合資会社の社屋。本館は煉瓦造3階建て倉庫棟は煉瓦造2階建。

旧分析室は木造平屋建。大正2（1913）年竣工。



福岡県北九州市若松区本町1-10-17

外観のみ
見学可

22

とちき
枋木ビル

未指定（建造物）

造船と船舶代理業を行う枋木商事の本社ビル。当時としては珍しい半地下室、自家用浄化槽等を備える鉄筋コンクリート造3階建。大正9年（1920）竣工。



福岡県北九州市若松区本町1-15-10

23

りょうていきんなべほんかん おもてもん
料亭金鍋本館、表門

国登録有形文化財（建造物）

若松の市街地に位置し、明治、大正期から営業していた多くの料亭の中でも著名な店のひとつ。本館は木造3階建。

現在の建物は、大正6（1917）年竣工。



福岡県北九州市若松区本町2-4-22

24

しものせきえき しんれい
下関駅の振鈴

JR西日本の登録鉄道文化財

JR下関駅開業当初から使われ続け、火災で焼失したと思われていた大型のハンドベル。



山口県下関市竹崎町4-3-1（下関駅内）

外観のみ
見学可

25

ほちや
蜂谷ビル

きゅうとうようほけいあかまがせきゆうびんでんしんせきしてん
（旧東洋捕鯨株式会社下関支店）
国登録有形文化財（建造物）

旧東洋捕鯨株式会社下関支店として大正15（1926）年に建設され、それ以来捕鯨活動の拠点となった建物。



山口県下関市岬町13-7

26

やまぐちぎんこう きゅうほんてん
山口銀行旧本店

山口県指定有形文化財（建造物）

明治9（1876）年に関門地域に進出した三井銀行が、下関支店として大正9（1920）年に新築した建物。昭和8（1933）年の百十銀行本店を経て、昭和19（1944）年から昭和40（1965）年まで山口銀行本店として使用された。



山口県下関市観音崎町10-6

27

ちゅうごくろうどうきんこしものせきしてん
中国労働金庫下関支店

きゅうふどうちよきんぎんこうしものせきしてん
（旧不動貯金銀行下関支店）
未指定（建造物）

下関側の銀行街に建てられた、画期的な免震基礎を持つ旧不動貯金銀行下関支店。

鉄筋コンクリート3階建、昭和9（1934）年竣工。



山口県下関市南部町21-23

28

しものせきなべちゆうゆうびんせきゆうしや
下関南部町郵便局庁舎

きゅうあかまがせきゆうびんでんしんせきよく
（旧赤間関郵便電信局）
国登録有形文化財（建造物）

明治33（1900）年に竣工した煉瓦造2階建の現存最古の現役郵便局舎。

金融業とともに関門地域でいち早く整備された通信事業を語る施設。



山口県下関市南部町22-8

29

きゅう あきたしやうかい
旧秋田商会ビル

下関市指定有形文化財（建造物）

木材や食料、薪炭などを海外に輸出する商社の社屋兼住居。

ドーム形屋根を持つ塔屋および屋上庭園が特徴。

大正4（1915）年竣工。



山口県下関市南部町23-11

外観のみ
見学可

30

かんもん きゅうかんもんせんかぶしきがいしや
関門ビル（旧関門汽船株式会社）

未指定（建造物）

門司港唐戸間の連絡船を運航する関門汽船株式会社が昭和6（1931）年に建設した事務所ビル。



山口県下関市唐戸町6-2

構成文化財一覧

31 旧下関英国領事館

きゅうしよものせきえいこくりようじかん
国指定重要文化財（建造物）

英国領事館の施設として明治39（1906）年に建設された煉瓦造の建物。



山口県下関市唐戸町4-11

32 旧宮崎商館

きゅうみやまぎましようかん
国登録有形文化財（建造物）

石炭輸出業を営む商館として明治40（1907）年に建設された建物。



山口県下関市田中町4-10

33 旧逓信省下関郵便局電話課庁舎

きゅうていしんしよものせきゆうびんきょくでんわかちようしよものせきしりつてんだいいせんじんけんしよかん
（下関市立近代先人顕彰館/田中絹代ぶんか館）

下関市指定有形文化財（建造物）
電話需要の増加に応じて大正13（1924）年に逓信省によって建設された建物。



山口県下関市田中町5-7

34 藤原義江記念館(旧リングア邸)

ふじわらよしえ きねんかん きゅう
国登録有形文化財（建造物）

瓜生商会の支配人子息、M・リングアのために昭和11（1936）年に建設された住宅。



山口県下関市阿弥陀寺町3-14

35 日清講和記念館

にっしん こうわ きねんかん
国登録有形文化財（建造物）

昭和12（1937）年に下関市が建設した日清講和会議や下関条約に関する記念館（下関市立歴史博物館分館）。



山口県下関市阿弥陀寺町4-3

36 長州藩下関前田台場跡

ちようしゅうはんしよものせきままだいばあと
国指定史跡

幕末に長州藩が築造し、四国連合艦隊下関砲撃事件の舞台になった台場の一つ。



山口県下関市前田1-7

通常
非公開

37 三菱重工業株式会社下関造船所 第3ドック、第4ドック

みつびしじゆうこうぎょうかぶしきがいしよものせきぞうせんしよ
第3ドック、第4ドック
未指定（建造物）

大正3（1914）年山口県下関市彦島に設立した造船所。第3ドックは大正11（1922）年竣工の石造で、第4ドックは大正5（1916）年竣工の石造。



山口県下関市彦島江の浦町6-16-1

通常
非公開

38 旧金ノ弦岬灯台

きゅうかねのつるのみさきとうだい
下関市指定有形文化財（建造物）

明治4（1871）年に設置された関門海峡の礁標を大正9（1920）年に移築した灯台。平成12（2000）年に廃止されるまで、関門航路を照らした。



山口県下関市大字彦島金ノ弦岬

外観のみ
見学可

39 六連島灯台

むつれしまとうだい
六連島灯台
下関市指定有形文化財（建造物）

大坂条約の約定に基づき関門海峡西端に設置された、R. H. ブラントン設計の洋式灯台。明治4年11月（1872年1月）に初点灯した。



山口県下関市六連島

通常
非公開

40 関門隧道下り線 関門隧道上り線

かんもんすいどう かんもんすいどう
未指定（建造物）

戦時中の日本軍に最優先事項の工事として位置づけられた、世界初の海底トンネル。



福岡県北九州市/山口県下関市

41 パナナの叩き売り

たたく う
未指定（無形民俗）

大阪商船や日本郵船により台湾航路が確立し、安定して大量のパナナが関門港に輸入されるようになった。軽妙な売り口上による掛け合いは「パナナの叩き売り」として定着し、現在も関門の風物詩となっている。



福岡県北九州市/山口県下関市

42 フグ料理

りょうり
未指定（無形民俗）

伊藤博文が明治21（1888）年にフグ食を解禁。以来、地域の近代化とともに、郷土の代表的味覚として、多様な食文化を形作っている。また、素材のフグは、地元では「福」に通じる「ふく」と呼ばれ、親しまれる存在となっている。



福岡県北九州市/山口県下関市